

東日本大震災津波

[大槌町被災概要(復興編)]



平成 25 年 1 月 1 日現在



復興編 もくじ

- 1 人口移動等（震災後）
- 2 住宅再建
 - (1) 応急仮設住宅の入居状況
 - (2) 災害公営住宅
- 3 生活再建支援
 - (1) 災害義援金等
 - (2) 被災者生活再建支援金
 - (3) 弔慰金・見舞金
 - (4) 災害援護資金
- 4 産業の復興状況
 - (1) 水産関係
 - (2) 商工関係
- 5 がれき処理状況
- 6 ボランティア活動状況
- 7 行政機能の回復状況
- 8 大槌町東日本大震災津波復興計画
 - (1) 基本計画
 - (2) 実施計画

資料編

- 1 東日本大震災津波復興計画 基本計画（概要）
- 2 津波浸水シミュレーション結果
- 3 大槌町東日本大震災津波復興計画策定に係る経過

（参考）東日本大震災津波 大槌町被災概要

- | | |
|------------|---------------------------------|
| ○ 地震の概要 | 第2章 復旧編 |
| ○ 被災概要 | 1 救出・行方不明者搜索の状況 |
| 1 人的被害 | 2 避難者の推移 |
| 2 建物被害 | 3 民有地のがれき撤去進捗状況 |
| 3 上水道被害 | 4 応急仮設住宅の入居状況 |
| 4 土木関係被害 | 5 災害義援金等の状況 |
| 5 学校等被害 | 6 役場仮庁舎 |
| 6 社会福祉施設被害 | 7 支援の状況
（自衛隊、警察、市町村、ボランティア等） |
| 7 水産関係被害 | 8 産業の復興状況 |
| 8 農林関係被害 | |
| 9 商工関係被害 | |
| 10 観光施設被害 | |
| 11 文化財被害 | |
| 12 消防施設被害 | |
| 13 庁舎等被害 | |

1 人口移動等（震災後）

① 震災後の人口・世帯数の推移（町民課） （平成 24 年 12 月 31 日現在）

区 分	震災前(H23.3)	震災後	増減
人 口	15,994 人	13,061 人	▲2,933 人(▲18.3%)
世帯数	6,348 世帯	5,456 世帯	▲892 世帯(▲14.1%)

② 人的被災状況（町民課・総務課・被災者支援室） （平成 24 年 12 月 31 日現在）

区 分	被災状況
死亡者（人）	799 人
行方不明者（人）	455 人
うち死亡届出有	431 人
震災関連死（人）	39 人
遺体収容者（体）	863 体
身元判明遺体	770 体
町 内	729 体
町 外	70 体
身元不明遺体	90 体

③ 児童生徒数の推移（学務課） （平成 24 年 12 月 31 日現在）

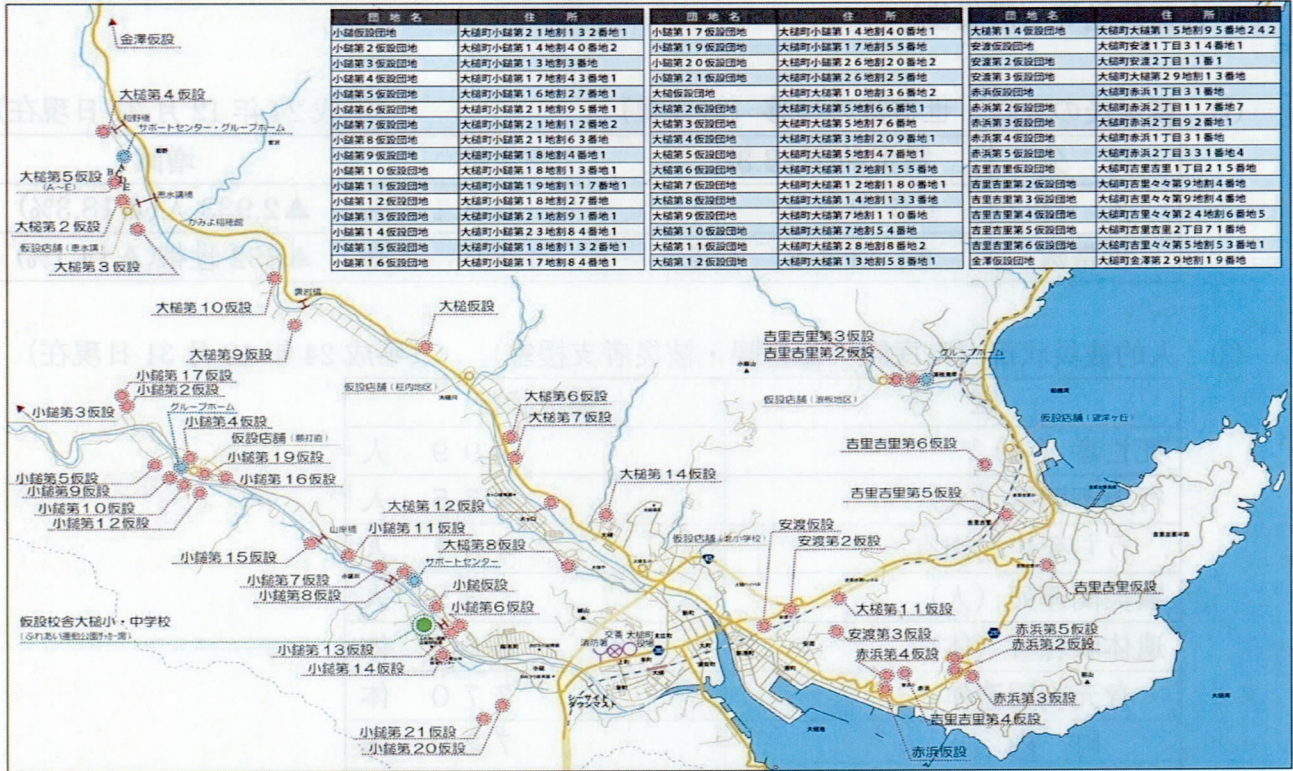
区 分	震災前 (H23.3)	震災後 (H24.11)	増減
児童生徒数(人)	1,224 人	906 人	▲318 人(▲26.0%)
児童数	773 人	556 人	▲217 人(▲28.1%)
生徒数	451 人	350 人	▲101 人(▲22.4%)
要保護児童生徒数(人)	21 人	5 人	▲16 人(▲76.2%)
準要保護児童生徒数(人)	74 人	22 人	▲54 人(▲73.0%)
被災準要保護児童生徒数(人)		423 人	

2 住宅再建

(1) 応急仮設住宅の入居状況（被災者支援室） （平成 24 年 11 月 30 日現在）

区 分	内 容
住宅戸数	2,106 戸
入居世帯数	2,053 世帯
入居者数	4,621 人
入居率	97.5 %

大槌町応急仮設住宅マップ



(参考) 生活再建住宅支援事業について

1 被災住宅債務利子補給

区分	利子補給の対象	補給の割合	受付期限
新築(融資限度額 1,460 万円)	住宅の建設又は購入のために民間金融機関などから融資を受けた場合の利子(金利 2%以内)	当初 5 年間の利子	平成28年度
補修	住宅の増改築又は改修のために住宅金融支援機構などから融資を受けた場合の利子(金利 1%以内)	当初 5 年間の利子	平成 25 年度
既住宅債務	被災住宅の債務があり、新築等のために住宅金融支援機構などから融資を受けた場合の被災住宅債務の利子	5 年間の利子を一括補助	平成 28 年度

2 被災住宅補修等補助

区分	補助の対象	補給の割合	受付期限
住宅補修	生活再建支援制度や応急修理制度の適用を受けない一部損壊等の被災住宅補修工事 ※10 万円以上の工事	1/2(限度額 30 万円)	平成 25 年度
耐震改修	耐震基準に満たない住宅を、耐震基準に適合させるための改修工事	1/2(限度額 60 万円)	平成 25 年度
バリアフリー改修	床の段差解消や、手すりの設置などの改修工事		
県産材使用改修	県産材を積極的に使用する住宅改修工事		

3 被災宅地復旧補助

区分	補助の対象	補給の割合	受付期限
被災宅地復旧	のり面の保護、排水施設設置、地盤補強及び整地、擁壁の設置及び補強工事など※20万円以上の工事	1/2(限度額200万円)	平成 25 年度

4 災害復興住宅新築等補助

区分	補助の対象	補給の割合	受付期限
新築	県内で居住する住宅が全壊(半壊解体含む)し、町内に居住するための住宅を建設又は購入した場合の補助	100 万円(単数世帯 75 万円)	平成 28 年度
バリアフリー対応	住宅品質確保促進法の規定に基づく評価方法基準(高齢者等配慮対策等級3)を満たす住宅建設	整備面積に応じて 40~90 万円	平成 28 年度
県産材使用改修	10立方メートル以上の県産材を使用しての住宅建設	整備面積に応じて 20~40 万円	平成 28 年度

(2) 災害公営住宅（管理用地課）

① 建設計画（平成 24 年 12 月 31 日現在）

980 戸

② 整備区分

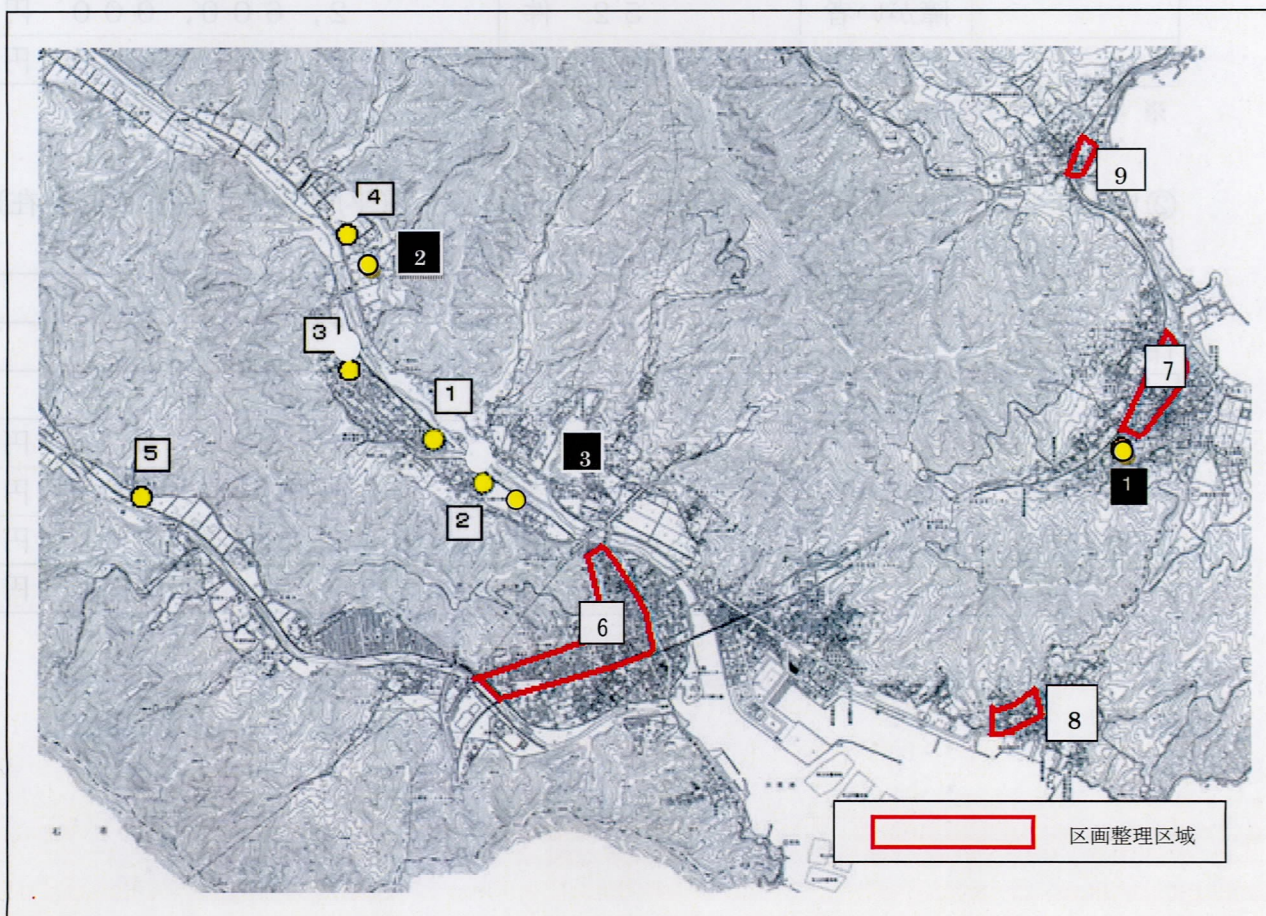
【大槌町】 480 戸

No.	住宅名	住所	住宅タイプ	建設予定戸数
①	大ケ口	大ケ口 1 丁目	連棟	70 戸
②	屋敷前	大槌第 14 地割（源水）	連棟	21 戸
③	大ケ口二丁目地区	大ケ口 2 丁目	戸建	50 戸
④	柁内地区	大槌第 12 地割（柁内）	戸建	13 戸
⑤	三枚堂地区	小槌（三枚堂）	戸建	27 戸
⑥	町方地区	区画整理区域内	未定	209 戸
⑦	吉里吉里地区	吉里吉里地区内	未定	53 戸
⑧	赤浜地区	赤浜地区内	未定	22 戸
⑨	浪板地区	浪板地区内	未定	15 戸

【岩手県】 500 戸

No.	敷地名	住所	住宅タイプ	建設予定戸数
①	吉里吉里給食センター隣	吉里吉里 1 丁目	集合	34 戸
②	大柁橋下流	大槌第 12 地割（柁内）	集合	90 戸
③	大槌中学校跡地	大槌第 14 地割（源水）	集合	150 戸
—	町方、安渡、赤浜、吉里吉里、浪板地区等		未定	226 戸

【建設予定地】



3 生活再建

(1) 災害義援金等の状況（被災者支援室）

①大槌町災害義援金

(平成 24 年 11 月 30 日現在)

[寄附状況]

区 分	件 数	金 額
個 人	1, 3 0 0 件	7 4, 8 7 6, 1 9 0 円
法 人	5 6 7 件	2 8 5, 0 0 8, 9 3 1 円
計	1, 8 6 7 件	3 5 9, 8 8 5, 1 2 1 円

[配分状況]

区 分	件 数	金 額	
死亡又は行方不明	1, 2 3 1 件	2 4, 6 2 0, 0 0 0 円	
家屋損壊等	全壊等	3, 1 2 6 件	6 2, 5 2 0, 0 0 0 円
	半壊等	6 9 4 件	1 3, 8 8 0, 0 0 0 円
災害障害	2 件	4 0, 0 0 0 円	
未成年者	両親死亡	7 件	7, 0 0 0, 0 0 0 円
	片親死亡	8 5 件	4 2, 5 0 0, 0 0 0 円
住家損壊等	一部損壊	5 6 件	2, 8 0 0, 0 0 0 円
	貸家等	6 9 件	3, 4 5 0, 0 0 0 円
	空家等	3 4 件	1, 0 2 0, 0 0 0 円
	ひとり親	5 1 件	2, 5 5 0, 0 0 0 円
	要介護	4 5 件	2, 2 5 0, 0 0 0 円
	障がい者	5 2 件	2, 6 0 0, 0 0 0 円
計	5, 4 5 2 件	1 6 5, 2 3 0, 0 0 0 円	

※「-」は今後順次配分予定

②日本赤十字・共同募金会等義援金

(平成 24 年 11 月 30 日現在)

[県からの配分額]

配分額(千円)	8、8 4 3、4 1 5 千円
---------	------------------

[配分状況]

区 分	件 数	金 額
人的被害	6, 1 8 2 件	2, 0 0 7, 0 3 9, 0 0 0 円
住家被害（全壊等）	1 5, 6 8 3 件	5, 0 9 1, 3 4 5, 0 0 0 円
住家被害（半壊等）	3, 4 8 8 件	6 9 2, 3 4 4, 0 0 0 円
計	2 5, 3 5 3 件	7, 7 9 0, 7 2 8, 0 0 0 円

(2) 被災者生活再建支援金

(平成 24 年 11 月 30 日現在)

[基礎支援金 (支給件数)]

区 分	単身世帯	複数世帯	計
全壊・半壊	902件	2,272件	3,174件
半壊解体	63件	71件	134件
大規模半壊	165件	405件	570件
その他(取下等)	0件	0件	0件
計	1,130件	2,748件	3,878件

[加算支援金 (支給件数)]

区 分	単身世帯	複数世帯	計
建築・購入	22件	184件	206件
うち町内	5件	70件	75件
うち町外	17件	114件	131件
補修	84件	386件	470件
賃貸	24件	29件	53件
計	130件	599件	729件

(3) 弔慰金・見舞金

(平成 24 年 11 月 30 日現在)

区 分	件 数	金 額
災害弔慰金	1,125 件	3,372,500,000 円
災害障害見舞金	2 件	3,750,000 円
計	1,127 件	3,376,250,000 円

(4) 災害援護資金

(平成 24 年 11 月 30 日現在)

区 分	件 数	金 額
災害援護資金	51 件	129,500,000 円

4 産業の復興状況（産業振興部）

金沢支庁水産再生推進計画（第2版）

（1）水産関係

（平成24年12月31日現在）

・漁業協同組合

新おおつち漁業協同組合 設立：平成24年3月1日

組合員数280名（正組合員数267名、準組合員数13名）

・定置網 平成23年：沖野島定置網整備済 1ヶ統

平成24年：沖野島定置網替網、野島定置網整備中

※9/5(木) 大槌市場水揚げ開始

平成25年：長越定置網整備予定、3ヶ統復旧予定(沖野島、野島、長越定置網)

・定置船 平成23年：定置船4隻 応急修理

平成24年：新造船(19t) 2隻 建造着手予定

平成25年：新造船2隻就航予定

・漁船 平成23年：被害672隻 復旧計画数280隻

平成24年：復旧数268隻

・ワカメ養殖 平成23年：被害棚数400台、復旧数197台

平成24年：復旧目標数 80台 復旧予定数 277台

※水揚げ数量 平成24年：197.2t

・ホタテ養殖 平成23年：被害棚数374台、復旧数72台

平成24年：復旧目標数 120台 復旧予定数 192台

・カキ養殖 平成23年：被害棚数32台、復旧数47台

平成24年：復旧目標数 4台 復旧予定数 51台

※水揚げ数量 平成24年：259.2t

・ホヤ養殖 平成23年：被害棚数72台、復旧数 0台

平成24年：復旧目標数 110台

・経営体数

ワカメ養殖：55経営体→23経営体

ホタテ養殖：50経営体→12経営体

カキ養殖：6経営体→12経営体

ほや養殖：42経営体→15経営体

・さけ関連施設 平成23年：源水ふ化場 放流数約10,000千尾

・アワビ漁

平成 22 年：水揚量 11,752 キロ
 平成 23 年：水揚量 2,577 キロ
 平成 24 年：水揚量 7,473 キロ

・うに漁

平成 22 年：水揚量 7,009 キロ
 平成 24 年：水揚量 2,094 キロ

・こんぶ漁

平成 24 年：水揚量 79.8 t

(2) 商工関係

(平成 24 年 10 月 31 日現在)

① 中小企業被災資産修繕事業費補助金

ア 店舗、事務所

・決定件数 4 件 交付金額 6,558 千円

イ 工場、旅館

・決定件数 4 件 交付金額 48,746 千円

② 被災事業者再開支援事業補助金

・決定件数 92 件 交付金額 39,239 千円

③ さんりく基金「被災地域産業再生事業」【大槌商工会】

・決定件数 49 件 交付金額 13,338 千円

④ さんりく基金「被災事業者業務再開事業」

・決定件数 23 件 交付金額 10,228 千円

⑤ 移動販売車購入事業補助金

・決定件数 6 件 申請金額 4,778 千円

⑥ 中小機構仮設事務所

地区	事業者数	営業開始	備 考
浪板	2	H23. 11	小売業(1)、美容業(1)
望洋ヶ丘	3	H23. 11	美容(1)、小売業(2)
和野	4	H23. 11	小売業(2)、美容業(1)、飲食業(1)
蕨打直	10	H23. 11	理容業(2)、小売業(3)、飲食業(2) その他(3)
柁内	19	H23. 12	小売業(2)、工業系(13)、サービス系(2) その他(2)
大槌北小	39	H23. 12	飲食業(8)、小売業(20)、美容業(4) タクシー業(2)、その他(5)
大槌漁港	7	H23. 12	水産加工等(7)

⑦ ショッピングセンターMAST

・45 事業者 (ホーマック・ロータスクラフト・セルフスタント・コインランドリー含む)

5 災害廃棄物の処理（環境整備課）

【進捗状況】

（平成 24 年 11 月 30 日現在）

災害廃棄物等推計量	災害廃棄物推計量	災害廃棄物の仮置場への搬入状況			
		仮置場設置数	仮置場面積	搬入済量	搬入率
483 千 t	337 千 t	19 箇所	31,0 ha	315 千 t	93.0 %
処理・処分量計	処理・処分状況				
	再生利用量	焼却処分量	埋立処分量	処理・処分割合	
62 千 t	40 千 t	22 千 t	0 千 t	18.5 %	

【被災時の状況（安渡地区）】



6 ボランティア活動状況（大槌町社会福祉協議会 復興支援ボランティアセンター）

(1) 受入状況

（平成 24 年 12 月 31 日現在）

区分	平成 24 年 12 月実績	総数
団体数	42 団体	6,894 団体
受入人数	475 人	65,713 人

(2) 活動支援内容

- 浸水被害住宅の泥出し・家財撤去、瓦礫撤去、側溝の泥出し
- 炊き出し、イベント運営、ニーズ調査、引越し支援、避難所支援
- 仮設団地での給茶、住環境点検、物資配布 等
- 側溝泥だし
- 海岸清掃（吉里吉里海岸）

7 大槌町の行政機能

(1) 組織・職員数（総務課）

区分	震災前（平成 23 年 3 月 11 日現在）	震災後（平成 24 年 12 月 31 日現在）
組織	<u>組織</u> ①町長部局 <u>8課 20班</u> ②水道事業所 ③教育委員会事務局 ④議会事務局	<u>組織</u> ①町長部局 <u>6部局 12課 3室 34班</u> ②水道事業所 ③教育委員会事務局 ④議会事務局 （変更概要） ・副町長3人体制 ・部局制の導入
職員数	<u>職員数</u> <u>136人（ほか三役3人）</u>	<u>職員数</u> <u>207人</u> 正規職員 141人（ほか三役5人） 派遣職員 62人 （うち県内22人 県外40人） 支援職員 3人

(2) 役場仮設庁舎（財政課）

① 建設の概要

着工 平成 23 年 3 月 30 日 完成 平成 23 年 4 月 9 日

② 施設の概要

ア 役場施設 9棟 987 m²
 イ その他施設 [大槌消防署、釜石警察署大槌交番、町消防団本部] . . . 3棟 275 m²
合計 12棟 1,262 m²

③ 業務開始日 平成 23 年 4 月 25 日



【大槌小学校校庭に整備された仮庁舎（中央）】

(3) 役場仮庁舎

① 場 所 大槌小学校校舎を修復のうえ利用

② 施設の概要

ア 役場施設（各部局、議会事務局） 4,972 m²
 イ その他施設 1,067 m²

③ 業務開始 平成 24 年 8 月 6 日

8 大槌町東日本大震災津波復興計画

(1) 基本計画

① 策定

平成 23 年 12 月 26 日（大槌町議会議決）

② 目的

東日本大震災津波によって甚大な被害を受けた大槌町において、今回の震災が与えた被害の状況や影響、復興に向けた課題を把握し、1 日も早く復興を成し遂げるための未来の設計図として策定

③ 構成及び期間

ア 基本計画：震災復興に向けた基本的な施策の方向を示すもの

期間：8 年間（平成 23 年度から平成 30 年度）

イ 実施計画：基本計画に沿って各施策に対応した事業のあり方を示すもの

期間：復旧期（平成 23 年度から平成 25 年度）

④ 内容（詳細は資料編のとおり）

第 1 章 計画の策定に当たって・

1 計画の目的 2 計画の構成及び期間 3 関連計画との整合性

第 2 章 東日本大震災津波の状況

1 東日本大震災津波の概要 2 大槌町の被災状況
3 これまでの復旧状況 4 復興に向けた課題

第 3 章 復興まちづくりの基本的考え方

1 まちの将来像 2 復興まちづくりの基本的考え方

第 4 章 復興まちづくりの基本施策

1 安全・安心の確保 2 暮らしの再建
3 地域経済の再興 4 教育環境の整備

第 5 章 復興に向けたプロジェクトの方向性

1 プロジェクト推進の基本的考え方 2 プロジェクトの概要
3 プロジェクトの取組方針

第 6 章 地域別の復興まちづくりの方向性

1 町方地域 2 桜木町・花輪田地域 3 小枕・伸松地域
4 沢山・源水・大ケ口地域 5 安渡地域 6 赤浜地域
7 吉里吉里地域 8 浪板地域 9 小鎚地域 10 金沢地域

第 7 章 計画の推進方策

(2) 実施計画

① 策定

平成 24 年 5 月 23 日（町長決裁）

② 内容

第 1 章 計画の策定に当たって
1 計画の目的 2 計画の構成及び期間 3 実施計画の構成等
第 2 章 復旧期における施策展開
1 第 2 章の見方 2 施策体系 3 基本施策の構成事業一覧
4 「おおつちの未来を創る 5 つの重点プロジェクト」の推進体制
第 3 章 大槌町土地利用計画
1 目的 2 基本事項（前提条件） 3 津波シミュレーション結果
4 土地利用方針 5 地域別土地利用計画
第 4 章 大槌町地域福祉計画
第 5 章 大槌町老人福祉計画・介護保険事業計画

③ 復旧期（H23～H25）における基本施策の構成事業数等

基本施策	取組の方向性	取組項目	構成事業	（うち再掲）
安全・安心の確保	4	1 5	4 6	6
暮らしの再建	4	1 4	1 2 0	1 0
地域経済の再興	3	1 0	5 5	1 7
教育環境の整備	2	7	4 0	2
計	1 3	4 6	2 6 1	3 5

④ 大槌町土地利用計画（概要）

ア 土地利用方針（防潮堤等整備後の浸水を考慮した土地利用の考え方）

◎：設置が望ましい区域 ○：設置可能区域

△：一定の条件を考慮したうえで設置可能区域 ×：原則として設置してはならない区域

区分	今次 浸水範囲外	今次浸水範囲のうち想定浸水		防潮堤外
		浸水なし	浸水あり	
住居系	◎	○	×	×
公共系	◎	○	×	×
業務系	○	○	○	△
津波浸水シミュレーション結果	津波浸水想定区域外		津波浸水想定区域	

※住居系：住宅、病院、福祉施設等の居住を伴うもの

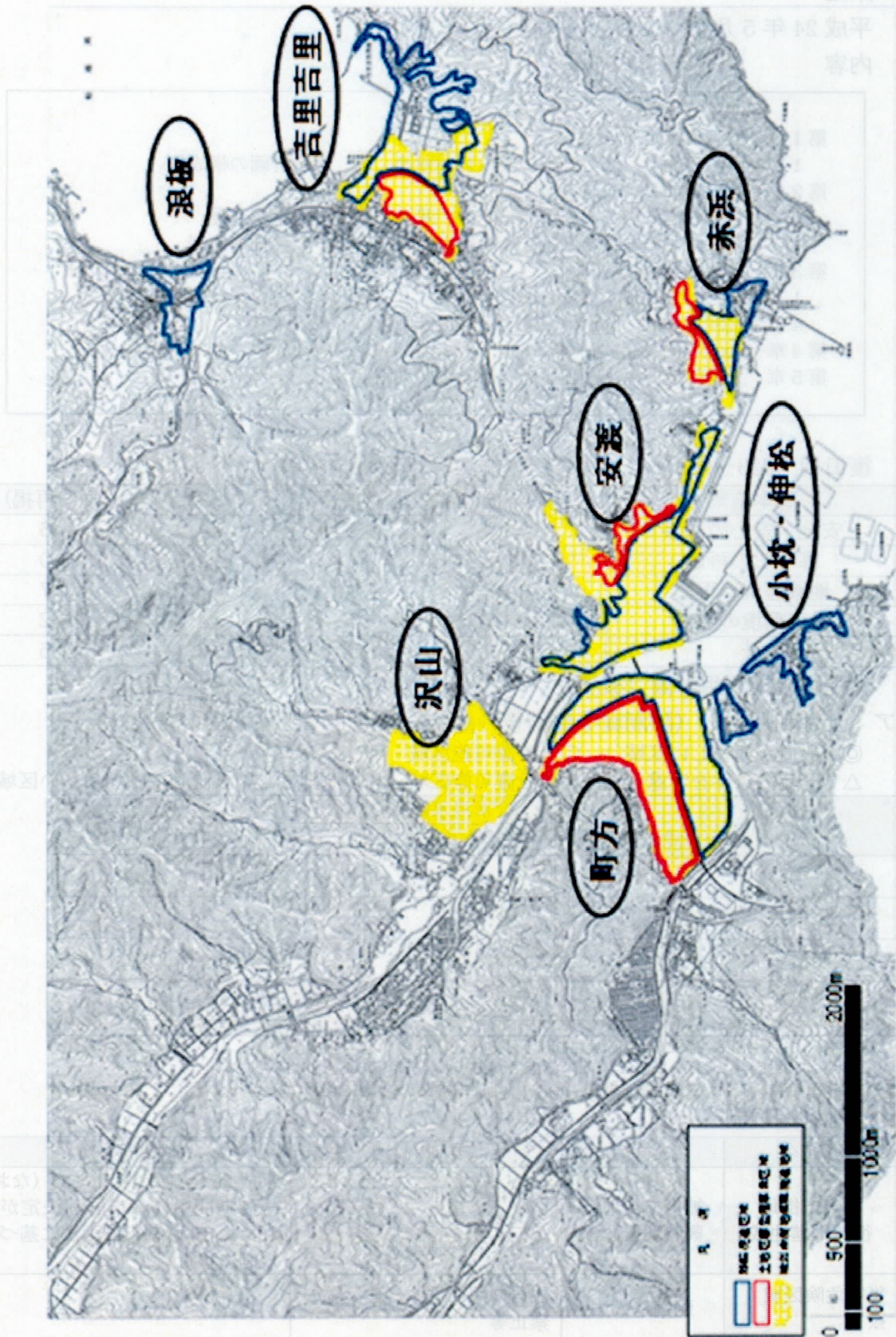
※公共系：役場庁舎、地区公民館、学校等（避難所等兼）の災害対策の拠点のなるもの

※業務系：商業、流通、生産、加工施設、漁港、漁港関係施設等の居住を伴わないもの

イ 土地利用規制

区域名	法律名	規制内容	備考
被災市街地 復興推進地域	被災市街地復興特別措置法	土地区画整理事業等を行うことを基本に、建築行為や開発行為の制限※ 1	平成 25 年 3 月 10 日まで（なお、規制期間中に都市計画決定がされた場合は、都市計画法に基づく規制に移行）
災害危険区域 ※ 2	建築基準法	住居の用に供する建築物の禁止等	

ウ 地域別土地利用計画（全体図）



[各地域土地利用計画（概要）]

区分	復興 推進 地域	災害 危険 区域	土地利用案	基盤整備及び公共施設整備等の概要	浸水想 定区域 内の家 屋
末広町、上町 及び本町の 全域、大町及 び新町の一 部	○		公共用、住居 用、商業用	○土地区画整理事業(盛土厚2m程度嵩上げ及び 換地等による住環境改善) ・大槌川沿いを公園化(浸水時の貯水池の整備) ・役場庁舎の整備 ・JR山田線大槌駅の再建促進 ・中心商店街の整備	無
須賀町及び 栄町の全域、 大町及び新 町の一部	○	○	産業用、公共 用(公園)	○防災集団移転促進事業による高台移転 ・事業所等産業用地の整備 ・鎮魂の森や運動公園の整備	無
桜木町・花 輪田地域			住居用	■浸水想定区域外であり、住居の建設自粛解除	—
小枕・伸松 地域		○	産業用、住居 用(高台)	○防災集団移転促進事業による高台移転	有 (3戸)
沢山・源水・ 大ケ口地域	○ (一部)		住居用、公共 用	■復興推進地域以外は住居の建設自粛解除 ○土地区画整理事業(大槌北小周辺の一部、道路 拡幅及び換地による住環境改善) ・新設小学校及び大槌中学校の整備	—
安渡地域	○ (一部)	○ (一部)	産業用、住居 用(高台)	○防災集団移転促進事業による高台移転 ○土地区画整理事業(道路拡幅及び換地による住 環境改善) ・水産加工団地の整備 ・消防署の整備	無
赤浜地域	○ (一部)	○ (一部)	産業用、公共 用(公園)、住 居用(高台)	○防災集団移転促進事業による高台移転 ○土地区画整理事業(嵩上げ及び換地等による住 環境改善) ・東大海洋研の再建促進 ・震災遺構の復元	有 (数戸)
吉里吉里地 域	○ (一部)	○ (一部)	産業用、公共用 (公園等)、住居 用(高台)	○防災集団移転促進事業による高台移転 ○土地区画整理事業(嵩上げ、道路拡幅及び換地 による住環境改善) ・公園の整備 ・フィッシャリーナの復旧、砂浜の再生	有 (約20 戸)
浪板地域	○ (一部)	○ (一部)	産業用、公共用 (公園等)、 住居用(高台)	○防災集団移転促進事業による高台移転 ○漁業集落防災機能強化事業(嵩上げ等による環 境改善) ・海岸公園の整備 ・砂浜の再生	有 (約10 戸)

9 復興交付金配分額

〔（要綱）復興交付金配分額〕

（単位：千円）

区 分	第1回配分	第2回配分	第3回配分	第4回配分	合計
岩手県大槌町	12,619,748 10,800,594	4,690,124 4,038,938	24,109,042 20,409,872	42,309,080 34,105,171	83,727,994 69,354,575
うち町交付分	4,219,645 3,466,657	4,690,124 4,038,938	24,106,497 20,407,882	37,629,156 30,050,285	70,645,422 57,963,762
うち県交付分	8,400,103 7,333,937	0 0	2545 1990	4,679,924 4,054,886	13,082,572 11,390,813

計 (円)					
一					
二					
計 (円)					
計 05(%) (円)					
計 01(%) (円)					

大槌町東日本大震災津波復興計画 基本計画 【概要版】

I 計画の策定

計画の構成及び期間

本計画は、震災復興に向けた基本的な施策の方向を示す「基本計画」と、その内容に沿って各施策に対応した事業のあり方を示す「実施計画」の2つの計画で構成します。
基本計画は、平成30年度までの8年間を計画期間とします。
実施計画は、第3期に分けて作成します。

23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度

【大槌町東日本大震災津波復興計画】

基本計画（平成23年度～平成30年度）

実施計画

第1期 ～復旧期～
平成23年度～平成25年度

第2期 ～再生期～
平成26年度～平成28年度

第3期 ～発展期～
平成29年度～平成30年度

まちの将来像

海に見えるつい散歩したくなるこだわりのある「美しいまち」

復興まちづくりの基本的考え方

●津波防災の基本的考え方

「避難する、避難できる」を基本とし、津波による犠牲者を一人も出さない「津波災害に強い安全・安心なまちづくり」を目指します。仮に被災しても人命が失われず被害を最小化する「減災」の考え方とし、①防災教育の推進や防災体制の強化、②防潮堤など海岸保全施設の整備推進、避難路や避難施設等の整備、高台移転や土地の嵩上げ、③住居等の建築制限など土地利用規制等を組み合わせた「多重防災型まちづくり」を取組の基本とします。

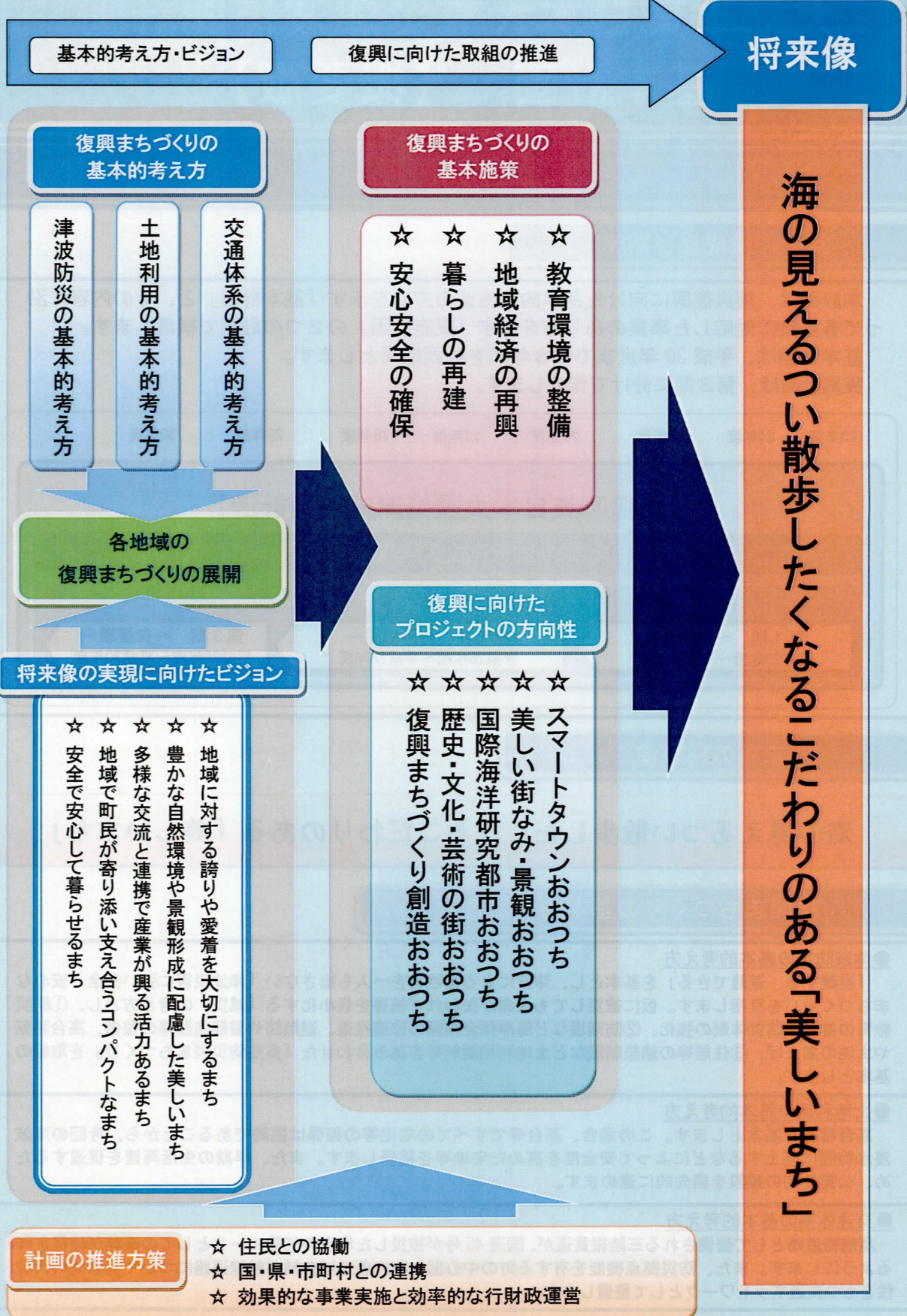
●土地利用の基本的考え方

高台移転を基本とします。この場合、高台等ですべての宅地等の確保は困難であることから、今回の津波浸水範囲に盛土するなどによって安全度を高めた宅地等を確保します。また、早期の生活再建を促進するため、公営住宅の建設を優先的に進めます。

●交通体系の基本的考え方

高規格道路として整備される三陸縦貫道が、国道45号が被災した場合の代替ルートとしての機能が確保されるようにします。また、防災拠点機能を有する町の中心部と町内各地域を結ぶ幹線道路について災害時の代替性をもつ交通ネットワークとして整備します。

【復興まちづくりの体系】



基本的考え方・ビジョン

復興に向けた取組の推進

将来像

復興まちづくりの基本的考え方

- 津波防災の基本的考え方
- 土地利用の基本的考え方
- 交通体系の基本的考え方

復興まちづくりの基本施策

- ☆ 安心安全の確保
- ☆ 暮らしの再建
- ☆ 地域経済の再興
- ☆ 教育環境の整備

各地域の復興まちづくりの展開

将来像の実現に向けたビジョン

- ☆ 地域に対する誇りや愛着を大切にするまち
- ☆ 豊かな自然環境や景観形成に配慮した美しいまち
- ☆ 多様な交流と連携で産業が興る活力あるまち
- ☆ 地域で町民が寄り添い支え合うコンパクトなまち
- ☆ 安全で安心して暮らせるまち

復興に向けたプロジェクトの方向性

- ☆ スマートタウンおおつち
- ☆ 美しい街なみ・景観おおつち
- ☆ 国際海洋研究都市おおつち
- ☆ 歴史・文化・芸術の街おおつち
- ☆ 復興まちづくり創造おおつち

海が見えるつい散歩したくなる「だわりのある」美しいまち

計画の推進方策

- ☆ 住民との協働
- ☆ 国・県・市町村との連携
- ☆ 効果的な事業実施と効率的な行財政運営

Ⅱ 復興まちづくりの基本施策

1 安全・安心の確保

- 協働による防災体制の確立・充実（自主防災組織化の推進、地域防災力の向上等）
- 復興まちづくりの住環境の整備（地域別土地利用計画等の策定、土地基盤や公営住宅の整備等）
- 災害に強い社会基盤の整備（海岸保全施設の整備推進、交通ネットワークの整備、避難路等の整備等）
- 町民の生命を守る体制の強化（消防防災体制及び救急救助体制の強化）

2 暮らしの再建

- 被災者の生活再建支援（生活再建の支援、仮設団地の環境改善、住宅再建の支援）
- 町民が元気で安心して暮らせる保健福祉の推進（健康づくりの推進、地域福祉の向上等）
- 町民が快適に生活できる生活環境基盤の整備（上下水道施設の復旧、災害瓦礫の適正処理等）
- ICTや再生可能エネルギーの活用（災害に強い情報システムの構築、スマートエネルギータウンの推進等）

3 地域経済の再興

- 水産業の復旧及び復興の推進（生産基盤の早期復旧、漁協の経営支援、水産加工団地の整備）
- 商業、工業及び観光業の復旧及び復興の推進（商業集積の形成、観光産業の振興、雇用創出等）
- 復興を牽引する農林業・農山村の振興（地域特性を生かした産地形成、復興需要を契機とした林業振興等）

4 教育環境の整備

- 地域を担う子供たちの教育環境の向上（教育環境の向上、就学の援助、施設環境の整備）
- 町民の主体的な文化スポーツ活動の促進（社会教育施設等の復旧、文化財の保存、防災文化の継承等）

Ⅲ 復興に向けた重点プロジェクトの方向性

① 復興まちづくり創造おおつちプロジェクト

地域経済の復興を加速化させるため、町民、関係団体及び行政機関が一丸となって、新規ビジネス創出などのさまざまな活動に対する支援プラットフォーム（＝基盤・体制）を構築します。

② 歴史・文化・芸術の街おおつちプロジェクト

当町の歴史や文化、吉里吉里善兵衛などの偉人、ゆかりのある文芸作品等（NHK人形劇「ひよっこりひょうたん島」や小説「吉里吉里人」など）を活用したまちづくりに取り組みます。

③ 国際海洋研究都市おおつちプロジェクト

東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターを拠点とした海洋研究や湧水・淡水型イトヨに関する国内外の研究者等と町民との交流等を推進します。

④ 美しい街なみ・景観おおつちプロジェクト

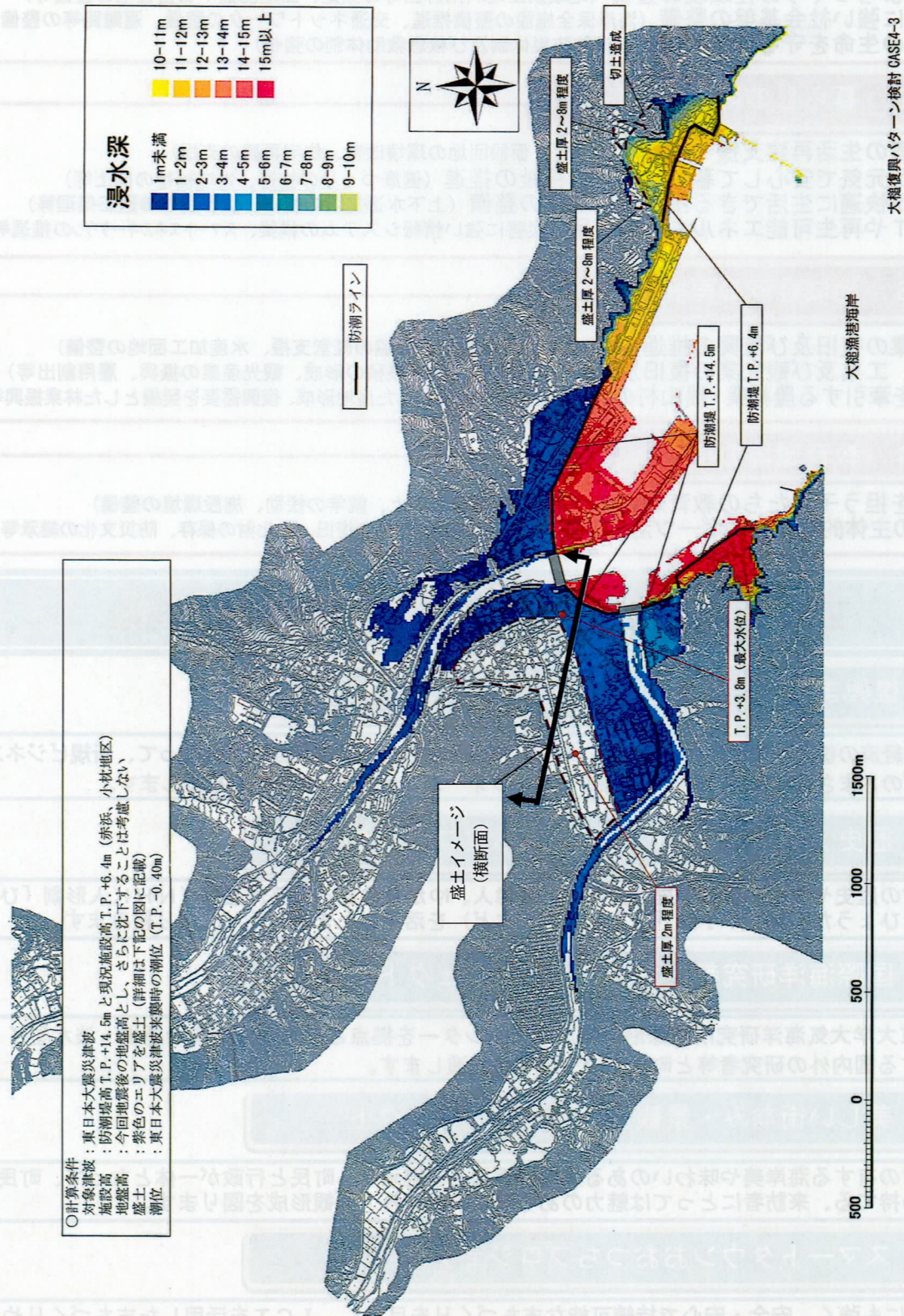
当町の有する海岸美や味わいのある集落環境などを継承し、町民と行政が一体となって、町民が愛着の持てる、来訪者にとっては魅力のある美しい街なみ・景観形成を図ります。

⑤ スマートタウンおおつちプロジェクト

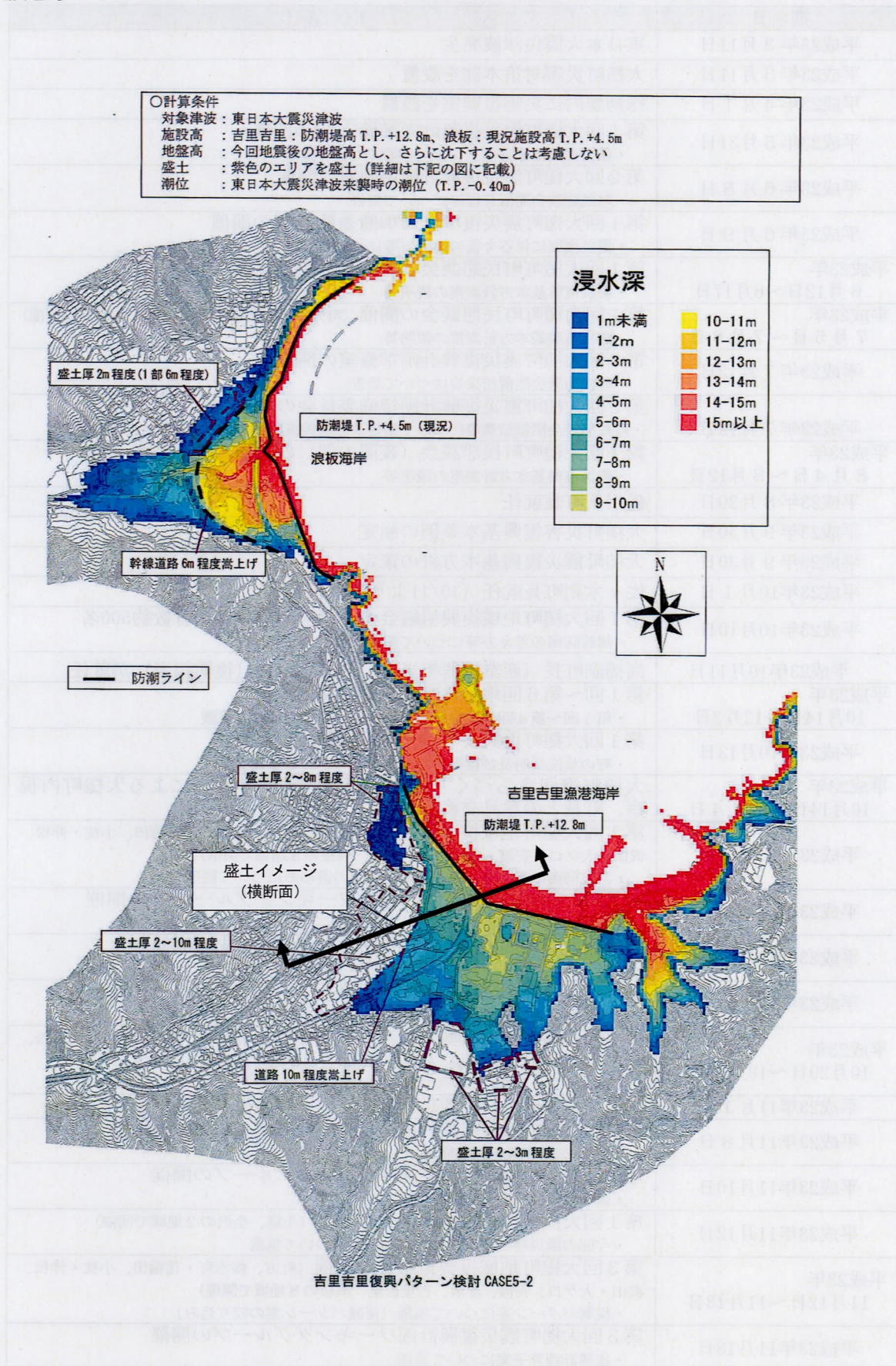
災害にも強く、安全・安心で持続可能なまちづくりを目指し、ICTを活用したまちづくりやスマートグリッドによる新エネルギー体制を構築します。

2 津波浸水シミュレーション結果

(1) 大槌湾



(2) 船越湾



大槌町東日本大震災津波復興計画策定に係る経過

期 日	内 容
平成23年 3月11日	東日本大震災津波発生
平成23年 3月11日	大槌町災害対策本部を設置
平成23年 4月 1日	総務課内に災害復興室を設置
平成23年 5月31日	第1回大槌町震災復興計画準備室 ^{※1} の開催 ・震災復興に係るスケジュール等について協議
平成23年 6月 8日	第2回大槌町震災復興計画準備室の開催 ・町民懇談会開催日程等について報告
平成23年 6月 9日	第1回大槌町震災復興計画準備委員会 ^{※2} の開催 ・震災復興に係る今後の進め方等について協議
平成23年 6月12日～6月17日	第1回大槌町町民懇談会の開催・町内13会場 ・震災復興基本方針素案の説明等
平成23年 7月 5日～7月 6日	第1回大槌町町民懇談会の開催（町外への避難者を対象に県内4会場で開催） ・震災復興基本方針素案の説明等
平成23年 7月12日	第3回大槌町震災復興計画準備室の開催 ・町民懇談会開催結果等について報告
平成23年 7月13日	第2回大槌町震災復興計画準備委員会の開催 ・町民懇談会開催結果等について報告及び震災復興基本方針案等について討議
平成23年 8月 4日～8月12日	第1回大槌町町民懇談会（夜間の部）の開催（町内5会場で開催） ・震災復興基本方針素案の説明等
平成23年 8月29日	碓川新町長就任
平成23年 9月30日	大槌町災害復興基本条例の制定
平成23年 9月30日	大槌町震災復興基本方針の策定
平成23年10月 1日	佐々木副町長就任（10/11より調整担当）
平成23年10月10日	第1回大槌町地域復興協議会全体会を開催・参加者数約500名 ・津波防御の考え方等について説明
平成23年10月11日	高橋副町長（産業振興担当）、石津副町長（復興担当）が就任
平成23年 10月14日～12月2日	第1回～第6回地域代表者会議の開催 ・第1回～第4回地域復興協議会の進め方等について協議
平成23年10月13日	第1回大槌町復興まちづくり創造懇談会の開催 ・町の状況説明及び復興まちづくりについての意見交換
平成23年 10月14日～12月 4日	大槌町復興まちづくり創造懇談会アドバイザーによる大槌町内視察、町長との意見交換等
平成23年10月16日	第1回大槌町地域復興協議会の開催（町方、桜木町・花輪田、小枕・伸松、沢山・大ケロ、安渡、赤浜、吉里吉里、浪板の8地域で開催） ・津波防御の考え方、地域復興協議会の進め方について説明
平成23年10月18日	第1回大槌町公共施設計画検討ワーキンググループ ^{※3} の開催 ・公共施設の建設計画等について協議
平成23年10月20日	第1回大槌町震災復興計画ワーキンググループの開催 ・ワーキンググループの進め方について協議
平成23年10月28日	第1回大槌町再生創造会議の開催 ・復興計画策定に向けた検討体制等について説明
平成23年 10月29日～10月30日	第2回大槌町地域復興協議会の開催（町方、桜木町・花輪田、小枕・伸松、沢山・大ケロ、安渡、赤浜、吉里吉里、浪板の8地域で開催） ・復興パターン案について協議
平成23年11月 1日	復興局を設置（総務課災害復興室は復興局復興推進室となる）
平成23年11月 8日	第2回大槌町公共施設計画検討ワーキンググループの開催 ・主要公共施設の配置検討
平成23年11月10日	第2回大槌町震災復興計画ワーキンググループの開催 ・復興計画骨子案について協議
平成23年11月12日	第1回大槌町地域復興協議会の開催（小鎗、金沢の2地域で開催） ・今回の震災時の対応等、町のあり方について協議
平成23年 11月12日～11月13日	第3回大槌町地域復興協議会を開催（町方、桜木町・花輪田、小枕・伸松、沢山・大ケロ、安渡、赤浜、吉里吉里、浪板の8地域で開催） ・復興パターン案について協議（復興パターン案の絞り込み）
平成23年11月18日	第3回大槌町震災復興計画ワーキンググループの開催 ・復興計画骨子案について協議

期 日	内 容
平成23年11月21日	第1回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興計画案について協議
平成23年11月22日	第3回大槌町公共施設計画検討ワーキンググループの開催 ・主要公共施設の配置検討
平成23年11月24日	第2回大槌町再生創造会議の開催 ・地域別復興協議会復興計画中間案等について説明
平成23年11月25日	第2回大槌町復興まちづくり創造懇談会の開催 ・復興まちづくりへの意見、提言について
平成23年11月26日	第2回大槌町地域復興協議会の開催（小釜、金沢の2地域で開催） ・災害時の役割等について協議
平成23年 11月26日～11月27日	第4回大槌町地域復興協議会の開催（町方、桜木町・花輪田、小枕・仲松、沢山・大ケ口、安渡、赤浜、吉里吉里、浪板の8地域で開催） ・地域別復興計画案について協議
平成23年11月28日	第6回大槌町議会全員協議会 ・地域別復興協議会復興計画中間案について説明
平成23年11月29日	第2回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興計画案について協議
平成23年 11月30日～12月15日	第2回大槌町町民懇談会の開催（町外への避難者を対象に県内4会場で開催） ・地域別復興計画について説明
平成23年12月2日	第4回大槌町震災復興計画ワーキンググループの開催 ・復興計画案について協議
平成23年12月4日	第2回大槌町地域復興協議会全体会の開催・参加者数約350名 ・地域別復興計画について発表
平成23年12月5日	第3回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興計画案について協議
平成23年12月9日	第4回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興計画案について協議
平成23年12月13日	第3回大槌町再生創造会議の開催 ・復興まちづくりの基本的考え方等について協議
平成23年12月15日	第5回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興計画案について協議
平成23年12月16日	第7回大槌町議会全員協議会 ・復興計画基本計画素案について説明
平成23年12月20日	第6回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興計画案について協議
平成23年12月26日	第9回大槌町議会臨時会 ・復興計画基本計画案の審議
平成23年12月27日	第7回大槌町災害復興本部会議の開催 ・住宅再建に関する意向調査案について協議
平成24年1月10日	第8回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興交付金事業、復興推進計画等について協議
平成24年1月16日	第9回大槌町災害復興本部会議の開催 ・実施計画等について協議
平成24年1月17日	第1回大槌町議会全員協議会 ・復興計画実施計画について説明
平成24年1月20日～ 2月24日（随時）	大槌町議会政務調査会（勉強会） ・復興計画等について
平成24年1月19日～27日	住宅再建に関する意向調査 （調査対象：3,787世帯、回答数：2,720世帯）
平成24年1月23日	第10回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興交付金事業、復興推進計画、復興整備計画について協議
平成24年1月27日	第2回大槌町議会全員協議会 ・大槌消防庁舎建設用地確保について説明
平成24年1月30日	第11回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興交付金事業計画（案）について協議
平成24年2月6日	第12回大槌町災害復興本部会議の開催 ・住宅再建に関する意向調査の結果（単純集計）について協議
平成24年2月13日	第4回大槌町議会全員協議会 ・大槌町立小中学校再編計画について説明
平成24年2月19日	第1回国と岩手県の意見交換会の出席 ・復興大臣と被災市町村間でまちづくりについて意見交換（盛岡市）

期 日	内 容
平成24年2月20日	第13回大槌町災害復興本部会議の開催 ・土地利用計画（素案）について協議
平成24年3月2日	第5回大槌町議会全員協議会 ・第5期介護保険事業計画及び大槌町地域福祉計画について説明
平成24年3月5日	第14回大槌町災害復興本部会議の開催 ・土地利用計画（案）について協議
平成24年3月15日	第6回大槌町議会全員協議会 ・土地利用計画（案）について説明
平成24年3月17日～21日	大槌町土地利用計画案に関する住民説明会 （開催場所：町内外15か所、参加者数：1,392名）
平成24年3月22日	第15回大槌町災害復興本部会議の開催 ・実施計画案について協議
平成24年3月26日	第16回大槌町災害復興本部会議の開催 ・実施計画案について協議
平成24年4月1日	地域整備部の体制強化 （管理用地課、環境整備課、都市整備課の3課体制に再編）
平成24年4月23日	第17回大槌町災害復興本部会議の開催 ・実施計画案について協議
平成24年4月25日	国との意見交換会の出席 ・復興副大臣と被災市町村間で防災集団移転促進事業について意見交換（釜石市）
平成24年5月14日	第18回大槌町災害復興本部会議の開催 ・実施計画案について協議
平成24年5月14日	復興大臣との意見交換会、町内視察 ・復興大臣と土地利用計画等について意見交換、赤浜地区等の現地視察（大槌町内）
平成24年5月17日	第8回大槌町議会全員協議会 ・復興計画実施計画案、復興事業工程計画等について説明
平成24年5月21日	第19回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興計画案等について協議
平成24年5月24日	第5回大槌町議会臨時会 ・復興計画実施計画の報告（資料提出）
平成24年5月28日	第20回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興交付金事業計画（案）について協議
平成24年6月4日	第21回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興交付金事業計画（案）について協議
平成24年6月11日	第22回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興交付金申請に係る取組状況について
平成24年6月18日	第23回大槌町災害復興本部会議の開催 ・復興・まちづくりの検討状況について
平成24年6月20日	第1回吉里吉里地域復興まちづくり懇談会 ・事業の概要と今後のスケジュールについて
平成24年6月23日	第1回安渡地域復興まちづくり懇談会 ・事業の概要と今後のスケジュールについて
平成24年6月25日	第24回大槌町災害復興本部会議の開催 ・第3回交付金申請について、地区別の検討状況について
平成24年6月30日 ～7月1日	第1回町方地域復興まちづくり懇談会 ・事業の概要と今後のスケジュールについて
平成24年6月30日	情報プラザオープン（ショッピングセンターマスト2階）
平成24年7月2日	第25回大槌町災害復興本部会議の開催 ・生活再建にかかる町の独自支援策について
平成24年7月8日	国と県の意見交換会 ・住宅再建や産業再生に向けた復興まちづくり
平成24年7月10日	第26回大槌町災害復興本部会議の開催 ・公共施設等の配置基本計画（素案）について
平成24年7月18日	第27回大槌町災害復興本部会議の開催 ・公共施設等の配置基本計画（素案）について、第4回復興交付金申請予定案件等について
平成24年7月25日	第1回沢山地域復興まちづくり懇談会 ・事業の概要と今後のスケジュールについて
平成24年7月28日 ～8月3日	大槌町復興まちづくり懇談会 （開催場所：盛岡/花巻市/遠野市/北上市/紫波町 参加者数：251名）
平成24年7月30日	第28回大槌町災害復興本部会議の開催 ・生活再建にかかる町の独自支援について

期 日	内 容
平成24年8月6日	大槌町役場仮庁舎 開庁式
平成24年8月9日	第29回大槌町災害復興本部会議の開催 ・防災集団移転事業の跡地利用について、大槌町独自支援について
平成24年8月23日	第30回大槌町災害復興本部会議の開催 ・防災集団移転事業の跡地利用について
平成24年9月4日	防災集団移転促進事業 国土交通大臣同意 ・赤浜地区
平成24年9月5日	第31回大槌町災害復興本部会議の開催 ・大槌町独自支援事業について
平成24年9月5日	赤浜地区 防災集団移転促進事業 移転先地権者説明会
平成24年9月10日	平成24年度第2回大槌町都市計画審議会 ・都市計画道路及び土地区画整理事業について
平成24年9月12日	東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター移転計画(案)説明会
平成24年9月18日	小枕・伸松地区 地区内住宅団地希望者説明会
平成24年9月19日	第2回赤浜地域復興まちづくり懇談会
平成24年9月21日	第32回大槌町災害復興本部会議 ・第4回復興交付金申請について
平成24年9月21日	第2回小枕・伸松地域復興まちづくり懇談会
平成24年9月24日	防災集団移転促進事業 国土交通大臣同意 ・町方地区、安渡地区、吉里吉里地区、浪板地区、小枕・伸松地区
平成24年9月25日	沢山地区骨格道路整備事業関係地権者説明会
平成24年9月28日	大槌町都市計画震災復興土地区画整理事業の都市計画決定 ・町方地区、安渡地区、赤浜地区、吉里吉里地区
平成24年9月28日	大槌町都市計画道路の変更の都市計画決定
平成24年10月4日	第33回大槌町災害復興本部会議 ・第4回復興交付金申請について・危険区域指定に関する今後の取り組みについて
平成24年10月24日	第3回赤浜地域復興まちづくり懇談会
平成24年10月28日	第2回安渡地域復興まちづくり懇談会
平成24年11月3日～4日	第2回町方地域復興まちづくり懇談会
平成24年11月5日	第34回大槌町災害復興本部会議 ・災害危険区域指定について
平成24年11月5日	第2回浪板地域復興まちづくり懇談会・災害危険区域指定に係る説明会
平成24年11月7日	第4回赤浜地域復興まちづくり懇談会・災害危険区域指定に係る説明会
平成24年11月8日	第2回吉里吉里地域復興まちづくり懇談会・災害危険区域指定に係る説明会
平成24年11月9日	大槌町独自支援事業 受付開始 (被災者新築住宅補助金、被災者引越補助金、住宅移転等水道工事費補助金)
平成24年11月9日	町方(新町、大町の一部、小枕、伸松)地域災害危険区域指定に係る説明会
平成24年11月9日	第3回小枕・伸松地域復興まちづくり懇談会
平成24年11月10日	全地域災害危険区域指定に係る説明会

期 日	内 容
平成24年11月12日	町方(栄町、須賀町)地域災害危険区域指定に係る説明会
平成24年11月13日 ～20日	町外まちづくり懇談会 (開催場所：遠野、北上、盛岡、紫波、花巻、釜石 参加者数：292名)
平成24年11月23日	第3回町方地域復興まちづくり懇談会
平成24年11月24日	第3回安渡地域復興まちづくり懇談会・災害危険区域指定に係る説明会
平成24年11月25日	第5回赤浜地域復興まちづくり懇談会
平成24年12月1日	浪板地域復興まちづくり懇談会 個別相談会
平成24年12月2日	吉里吉里地域復興まちづくり懇談会 個別相談会
平成24年12月20日	災害危険区域に係る住民説明会 惣川地区
平成24年12月29日 ～30日	個別相談会

- ※1 震災復興基本方針、震災復興構想、震災復興計画の策定準備のための庁内検討会議として設置し、10月12日付で大槌町震災復興計画ワーキンググループへ移行
- ※2 震災復興基本方針、震災復興構想、震災復興計画を審査審議するため、学識経験者、町議会議員、公共的団体の役員、関係行政機関の職員等18名で構成
- ※3 町の公共施設の再配置を検討し、公共施設計画を策定するための庁内検討会議として設置